



校長室だより

Newsletter from the Principal 校長簡訊

きおく のこ がっこう かがや あした つく
記憶に残る学校を～輝ける明日を創ろう

にいほり たかひさ
新堀 隆久

みなさん、こんにちは。中間テストが終わって、一息ついているところでしょうか。遠足は楽しかったですか？寒暖差があるので体調管理に注意してください。

突然ですが、私は長年ある疑問を抱いてきました。「なぜ校長先生の話は、記憶に残らないのか？」ということです。私自身、小中高時代に聞いた話を一つも思い出せません。それは、語られる言葉がどこか遠い「正解」ばかりで、自分の気持ちと繋がっていません。

だからと言って、校長となった今、私は皆さんの記憶に残る話をしよう！と意気込んでいるわけではありません。ただ、体温のある言葉を届けたいと思っています。前号で私の恥ずかしい進路の失敗談を明かしたのも、格好いい成功者としてではなく、共に迷う人間として向き合いたいからです。

今、社会はAI（人工知能）が急速に進化する大きな転換期にあります（私も日々生成AIを使っています）。そんな時代に「働く」とは、単にタスクをこなすことではなく、皆さんの「好き」や「得意」を誰かの幸せのために差し出し、新しい価値を創り出すことです。今の授業や部活動、行事の中で、「これなら夢中になれる」という自分だけの種を以前紹介した「虫のレンズ」で探してみてください。

現在、大洗高校の未来図である「グランドデザイン（目指す学校像）」を策定しています。しかし、学校の真の主役は生徒の皆さんです。皆さんが「ここで学びたい」と心から思える学校にするために、ぜひ意見を聴かせてください（校長室前のフォームから）。正解はありません。皆さんの本音が、明日の学校を創るエネルギーになります。

「今日の一日を大切に、輝ける明日を創ろう」。皆さんの参画を待っています。



5/23・24 マーチングバンド部 長野遠征



マイク先生の授業